平成 21 年度東部地区漁業士と行政との意見交換会

平成 21 年 11 月 6 日（金）に伊豆漁業協同組合の研修室で、東部地区漁業士と行政との意見交換会が開催されました。参加人数は東部地区漁業士 13 名、行政からは水産業局長、水産業局 3 室長、ほか 1 名、水産技術研究所伊豆分場 3 名の計 21 名でした。

今回の意見交換会は、東部地区漁業士会から提案されたテーマ「伊豆の魚をどう売るか？」を主に進められました。まず、水産業局長から「私が静岡在任中に「水産物流通」について挑戦すること」の題で水産流通等について話があった後、活発な意見交換が行われました。スーパーはどこにどれだけの水揚げ量があるか知りたがっている、某スーパーのバイヤーは直接現地から水揚物を運んで売り出しているといった事例も挙げられ、水産はまだまだチャンスがあるといった前向きな話がありました。

話は尽きる様子がなく、活発な意見交換が行われていましたが、時間の関係上、今後の課題として持ち越しました。水産業において１つでも多くの明るい話題が出てきて欲しいところです。今回意見交換が活発に行われ、まだまだ頑張っていけると感じました。

（飯沼紀雄）